

# EGOTERIC

D-07X

## 取扱説明書

エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

エソテリック製品は、最良の音質で末永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。



# 安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

 <b>警告</b>		以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p>	<b>万一、異常が起きたら</b> 煙が出たり、変なおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター (26ページに記載) に修理をご依頼ください。	
	<b>電源コードを傷つけない</b> 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら (芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (26ページに記載) に交換をご依頼ください。	
 <p>禁止</p>	<b>電源プラグにほこりをためない</b> 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。	
	<b>交流100ボルト以外の電圧で使用しない</b> この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧 (交流100ボルト) 以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。	
	<b>交流100ボルト以外の電圧で使用しない</b> この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧 (交流100ボルト) 以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。	
	<b>機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない</b> 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。	

## 安全にお使いいただくために (続き)

 <b>警告</b> 以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	
 禁止	<p>この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し(5cm以上)離して置く ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から5cm以上のすきまをあける すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p>
	<p>付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。</p>
 指示	<p><b>電源プラグにほこりをためない</b> 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的(年1回くらい)に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p>
 禁止	<p><b>機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない</b> 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。</p>

 <b>警告</b> 以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	
 分解禁止	<p><b>この機器のカバーは絶対に外さない</b> カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター(26ページに記載)にご依頼ください。</p>
	<p><b>この機器を改造しない</b> 火災・感電の原因となります。</p>

 愛情点検	<p>電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。 5年に1度は、販売店またはティアック修理センター(26ページ)に内部の点検をご依頼ください。費用についてはお問い合わせください。</p>
---	---

	<h2 style="margin: 0;">注意</h2> <p style="margin: 0;">以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>
 <p style="margin: 0;">電源プラグをコンセントから抜く</p>	<p style="margin: 0;">移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります</p> <p style="margin: 0;">旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。</p>
 <p style="margin: 0;">指示</p>	<p style="margin: 0;">オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する また、接続は指定のコードを使用する</p> <p style="margin: 0;">電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</p> <p style="margin: 0;">この機器は10.4kgあり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する</p> <p style="margin: 0;">この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。</p> <p style="margin: 0;">この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。</p>
 <p style="margin: 0;">禁止</p>	<p style="margin: 0;">ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となることがあります。</p> <p style="margin: 0;">電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。</p>
 <p style="margin: 0;">禁止</p>	<p style="margin: 0;">濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。</p>

# 目次

安全にお使いいただくために.....	3
目次.....	6
お使いになる前に.....	6
各部の名称（本体）.....	7
接続.....	8
基本操作.....	10
設定モード.....	11
パソコンと接続して音楽ファイルを再生する.....	18
メッセージ一覧.....	20
困ったときは.....	21
工場出荷時の状態に戻すには.....	22
お手入れ.....	22
仕様.....	23
リアパネル.....	24
保証とアフターサービス.....	25

"DSD" is a registered trademark.

"Super Audio CD" is a registered trademark.

Microsoft, Windows XP, Windows Vista and Windows 7 are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

Apple, Macintosh and Mac OS X are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

Other company names, product names and logos in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective owners.

# お使いになる前に

## 付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社AVお客様相談室（26ページに記載）にご連絡ください。

- 電源コード×1
- 取扱説明書×1
- ご愛用者カード×1

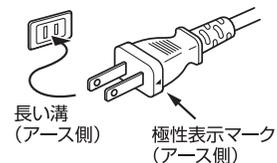
## 使用上の注意

- 本機の上には物を置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなる場所に置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- 安定した場所に設置してください。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしみ模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。

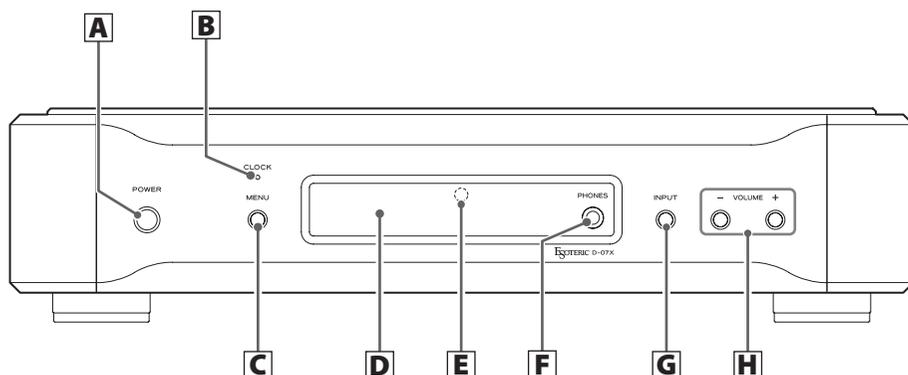
## 電源の極性について

付属の電源コードのプラグ部分の極性表示マーク（▲）は、本機のアース側を示しています。一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。

接続時の電源プラグの差し込む向き（極性）によって、音質が変わることがあります。お好みの音質となる向きで接続してください。



# 各部の名称 (本体)



## A 電源ボタン [POWER]

電源のオン/オフを切り換えます。電源がオンのときは、ボタンの周囲が青く光ります。

## B クロックインジケータ [CLOCK]

クロックシンクやマスタークロックの状態を表示します。

クロックシンク端子に信号が入力されるとインジケータが点滅し、ロックすると点灯に変わります。

青色に光る

クロック設定(CLK)が「OUT」、「IN」、「DMCK」の場合。

緑色に光る

クロック設定(CLK)が「PLL2」の場合。

## C メニューボタン [MENU]

設定モードになります。(11ページ)

## D ディスプレー

選択されている入力端子名など、各種メッセージが表示されます。

## E リモコン受光部

リモコンから送られる信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

エソテリック製品付属リモコンが使用できます。

## F ヘッドホン端子 [PHONES]

6.3mmステレオ標準プラグのヘッドホンが接続できます。

- 音声はアナログ音声出力端子 (LINE OUT) かヘッドホン端子 (PHONES) のどちらか一方に出力されます。
- 入力設定に関わらず、ヘッドホン端子 (PHONES) にヘッドフォンを接続するとアナログ音声出力端子 (LINE OUT) から音声が出られなくなります。

## G 入力切換ボタン [INPUT]

デジタル入力を切り換えます。デジタル機器が接続されている端子を選んでください。デジタル信号が入力されていないときは、ディスプレイが点滅します。

- エソテリック製品付属リモコンの入力切替ボタン (</>) でも操作できます。

## H 音量ボタン [VOLUME -/+]

出力レベルを $-\infty$  (MUTE)、 $-99.5 \sim 0.0$ dBの範囲を0.5dB刻みで調節できます。パワーアンプと直接接続して音量を調節したいときに使用します。

プリアンプと接続し、プリアンプで音量を調節する場合は、0.0dBに設定してください。

設定モードのときは、設定項目の選択に使います。

- ヘッドフォン端子にヘッドフォンを接続しているときはヘッドフォンの音量調整になり、ヘッドフォンが接続されていないときはアナログ音声出力の音量調整になります。
- エソテリック製品付属リモコンの音量ボタン (VOLUME -/+)でも操作できます。

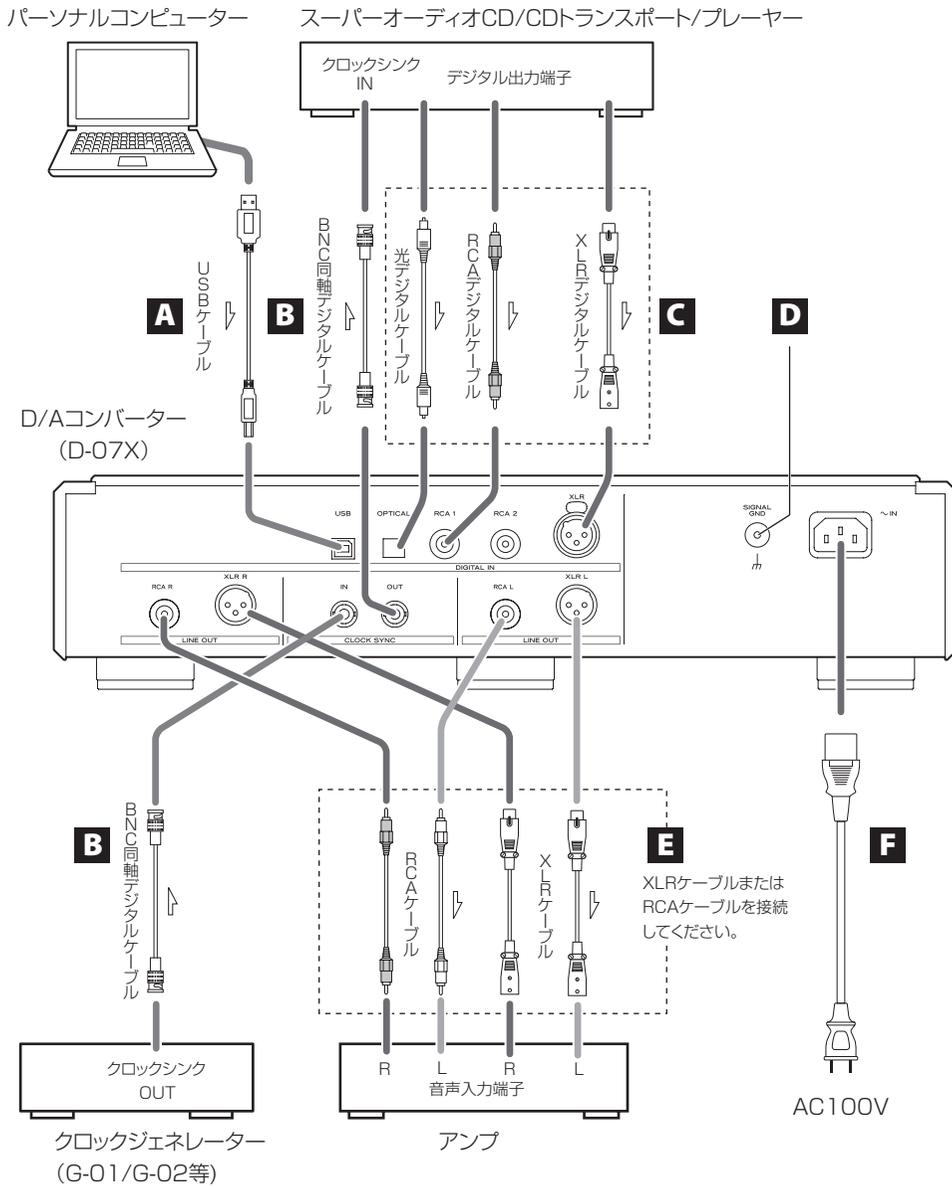
本機はP-05、K-05などのエソテリック製品付属のリモコンを使用できます。(10ページ)

エソテリック製品付属リモコンで本機を操作するときは、リモコンの設定を「Enable」にしてください。(17ページ)

# 接 続

## ⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。



**A** USB入力端子

パソコンのデジタル音声を入力します。パソコンのUSB端子と接続してください。

接続には市販のUSBケーブルをお使いください。本機のUSB端子は、USB-Bタイプです。

**B** クロックシンク入出力端子 [CLOCK SYNC]

同期信号(クロック)を入力/出力します。

クロックシンク入力端子(CLOCK SYNC IN)は、クロックジェネレーター G-01/G-02など、クロック信号を出力する機器のクロック出力端子と接続してください。

クロックシンク出力端子(CLOCK SYNC OUT)は、デジタル機器のクロック入力端子と接続してください。

接続には市販のBNC同軸デジタルケーブル(インピーダンスが75Ωのもの)をお使いください。

**C** デジタル音声入力端子 [DIGITAL IN]

デジタル音声を入力します。

デジタル機器(P-05/K-05など)のデジタル出力端子と接続してください。

接続には市販のケーブルをお使いください。

XLR : XLRデジタルケーブル

RCA : RCA同軸デジタルケーブル

OPTICAL : 光デジタルケーブル

**D** アース端子 [GND]

接続する機器(デジタル機器やアンプなど)とアース接続すると、音質が良くなる場合があります。

- 安全アースではありません。

**E** アナログ音声出力端子 [LINE OUT]

アナログの音声を出力します。

アンプにXLRの音声入力端子がある場合は、市販のバランス型XLRケーブルを使って接続してください。

XLRピン番号

1.COMMON

2.HOT (+)

3.COLD (-)

- XLR出力端子は、3番HOT (+)に切り替えることもできます。(16ページ)

アンプにRCAの音声入力端子がある場合は、市販のRCAオーディオケーブルを使って接続してください。

**F** 電源コード

電源コード接続ソケットに付属の電源コードを差し込んでください。全ての接続が終わったら、電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

- 本機の電源コード接続ソケットは3ピン仕様になっていますが、アースピンはシャーシには接続されていません。

- △ エソテリック純正の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください

# リモコンについて

本機にリモコンは付属していませんが、他のエンテリック製品付属のリモコンで操作ができます。

使用できるリモコンのボタンは以下の通りです。

## 音量ボタン [VOLUME -/+]

パワーアンプと直接接続して音量を調節したいときに使用します。(7ページ)

設定モードのときは、設定項目の選択に使います。(12ページ)

## セットアップボタン [SETUP]

設定モードになります。(11ページ)

## ミュートボタン [MUTING]

一時的にミュート(消音)します。

## 入力切替ボタン [INPUT</>または</>]

デジタル入力を切り換えます。(7ページ)

## ディマーボタン [DIMMER]

本体のディスプレイの明るさを調節できます。(17ページ)

以下のエンテリック製品に付属しているリモコンを使用できます。

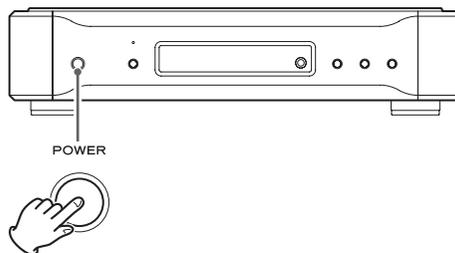
製品名	リモコン型番
A-100	RC-1156
AI-10	RC-1056
AZ-1	RC-1056
AZ-1s	RC-1077
C-03	RC-1156
I-03	RC-1251
K-01	RC-1156
K-03	RC-1156
K-05	RC-1251
K-07	RC-1301
P-01*	RC-985
P-02	RC-1156
P-03*	RC-985
P-03Univresal*	RC-1082
P-05	RC-1156
RZ-1	RC-1251
SA-50	RC-1156
X-05	RC-1156

\*: 音量ボタンのみ使用できます。

- リモコンを使用するときは、リモコンの設定(RC)を Enableに設定してください。(17ページ)

# 基本操作

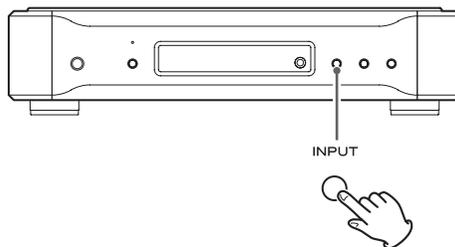
## 1 電源ボタンを押して電源をオンにする。



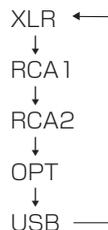
オンのときは、電源ボタンの周囲が点灯します。

- パワーアンプの電源は、必ず一番最後に入れてください。
- 接続してある機器の電源もオンにしてください。
- クロック (CLK) をINまたはDMCKに設定している場合、電源をオンにした直後は入力クロック信号を検知できないため、ディスプレイに「WRD UNLCK!」、 「NO WORD!」などのメッセージを表示することがありますが、接続した機器の電源を入れて、入力クロック信号がロックできれば、表示は消えます。

## 2 入力切替ボタンを押して入力を選ぶ。



ボタンを押すたびに以下のように入力が切り換わり、ディスプレイに表示されます。



入力を選んだら、ソースを再生してください。

## 設定モード

デジタル信号を感知できない場合、ディスプレイの文字が点滅します。接続した機器の電源をオンにし、接続を確認してください。

- プリアンプと接続せずに直接パワーアンプと接続するときはあらかじめ音量を $-\infty$  (---) に絞ってから入力機器を切替えてください。

### 3 入力で選択した機器を再生して音量を調整する。

プリアンプを接続せずに直接パワーアンプと接続するときは

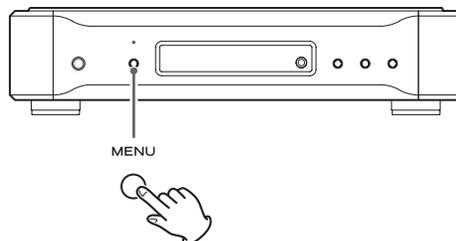
音量ボタン (-/+ ) を使用して音量を調整してください。

プリアンプと接続し、プリアンプで音量を調節するときは

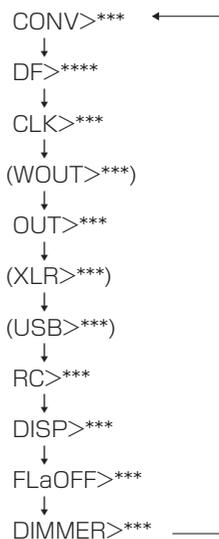
音量ボタン (-/+ ) を使用して音量を 0.0dBに設定してください。(7ページ)

- 本機はアナログ音声出力 (LINE OUT) とヘッドフォン出力のボリュームをそれぞれ設定できます。
- 音声はアナログ音声出力端子 (LINE OUT) かヘッドホン端子 (PHONES) のどちらか一方に出力されます。ヘッドホン端子 (PHONES) にヘッドフォンを接続するとアナログ音声出力端子 (LINE OUT) から音声が出られなくなります。
- 使用後は電源ボタンを押して電源をオフしてください。
- 電源を切るときは、パワーアンプの電源を一番最初に切ってください。

### 1 メニューボタンを押して、変更する項目を選ぶ。



メニューボタン押すたびに以下のようにディスプレイの表示が変わります。



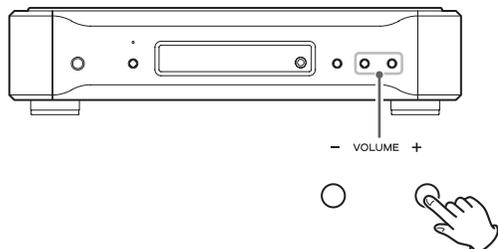
( ) で表示されている項目は設定によって表示されないことがあります。

入力切替ボタンを押すか、10秒以上放置すると、設定モードを抜けて通常の表示に戻ります。

- エソテリック製品付属リモコンのSETUPボタンでも操作できます。

# 設定モード (続き)

- 2** 音量ボタン(VOLUME -/+ )を使って、設定を変更する。



各設定内容については、12~17ページをお読みください。

- エンテリック製品付属リモコンの入力切替ボタン (</>) でも操作できます。
- 設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

## スーパーオーディオCD再生時またはDSDにフォーマット変換時(13 ページ)のミュートレベルについて

アナログ出力をXLR2またはXLR3に設定し、XLR出力のゲイン設定を+6dBにしたとき(16 ページ)、音量は-54dBでミュート(-∞)となります。その他の設定のときは、-48dBでミュートレベルとなります。

## 変更できる項目と設定

### アップコンバーター (CONV>\*\*\*)

CDなどのPCM信号が入力されているときに、この設定を切り換えることによって、サンプリング周波数をアップコンバートしたり、DSD信号に変換したりできます。

入力ごとに異なる設定ができます。

### デジタルフィルター (DF>\*\*\*)

デジタルフィルターの特性を切り換えます。

入力ごとに異なる設定ができます。

### クロック (CLK>\*\*\*)

クロックシンクまたはマスタークロックのモードを切り換えます。

入力ごとに異なる設定ができます。

### クロック出力周波数 (WOUT>\*\*\*)

クロックシンクを出力モードにしたときに、出力するクロックの周波数を選びます。

入力ごとに異なる設定ができます。

### アナログ出力 (OUT>\*\*\*)

アナログ出力の設定、選択を行えます。

### XLR出力のゲイン (XLR>\*\*\*)

XLR出力のゲインを設定します。

### USB入力 (USB>\*\*\*)

USBの動作モードを設定します。

### リモコン (RC>\*\*\*)

エンテリックのアンプなどと一緒を使用するときに、エンテリック製品付属リモコンで動作しないように設定できます。

### ディスプレイ表示 (DISP>\*\*\*)

通常のディスプレイに、設定されている音量を表示するか、サンプリング周波数を表示するかを切り換えます。

### 自動FL (ディスプレイ) 消灯 (FLaOFF>\*\*\*)

FLディスプレイの消耗を防ぐために同じ表示が続き、一定時間操作がない場合に表示を自動消灯することができます。

### ディマー (DIMMER>\*\*\*)

本体ディスプレイとインジケータの明るさを4段階で調節できます。

## アップコンバーター設定 表示 (CONV>\*\*\*)

- 各入力ごとに設定可能です。
- スーパーオーディオCD再生時はDSD信号がストレートにD/Aコンバータ部に伝送されます。

### OFF

アップコンバートを行わず入力信号がオリジナルのままストレートにD/Aコンバータ部に伝送されます。

### 2Fs

32kHz/44.1kHz/48kHzのソースを、それぞれ2倍の64kHz/88.2kHz/96kHzにアップコンバートし、D/Aコンバータ部に伝送します。

### 4Fs

32kHz/44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHzのソースを、それぞれ4倍または2倍の128kHz/176.4kHz/192kHzにアップコンバートし、D/Aコンバータ部に伝送します。

### DSD

DSDにデジタルフォーマット変換し、D/Aコンバータ部に伝送します。

## D/Aコンバーター部のデジタル フィルター設定

### 表示 (DF>\*\*\*)

- 各入力ごとに設定可能です。
- スーパーオーディオCD再生時またはDSDにフォーマット変換時は、DSD専用フィルターに固定されます。

### OFF

D/Aコンバータ部のデジタルフィルターを使用しません。

- この設定では、高調波成分が出力されます。高調波成分による混変調などでノイズが出る場合は、DFをFIRまたはS\_DLYに設定してください。

### FIR1

入力Fsにしたがって、FIR型フィルターのカットオフ周波数を可変します。

### FIR2

入力Fsにかかわらず、カットオフ周波数約80kHzのFIR型フィルターを使用します。

### S\_DLY1

入力Fsにしたがって、S\_DLY型フィルターのカットオフ周波数を可変します。

### S\_DLY2

入力Fsにかかわらず、カットオフ周波数約80kHzのS\_DLY型フィルターを使用します。

### D/Aコンバーター部のデジタルフィルターについて

#### FIR型デジタルフィルター

従来から音質に定評のあるフィルターで、濃密で豊かな音の響きと音の切れを両立させた音色を特徴とします。

#### S\_DLY型デジタルフィルター

インパルス応答にプリエコーがなく、音の立ち上がりや音の余韻が自然で、原音に近い音色が特徴です。

# 設定モード (続き)

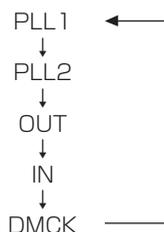
## クロック設定

### 表示 (CLK>\*\*\*)

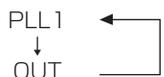
- 各入力ごとに設定可能です。

入力設定により選択できる項目が変わります。

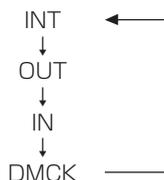
#### 入力がXLR/RCA1/RCA2/OPTの場合



#### 入力がUSB、USB設定がNORM、HS-1の場合



#### 入力がUSB、USB設定がHS-2の場合



#### PLL1

入力デジタルオーディオ信号に追従したマスタークロックを内蔵のPLL回路で生成します。広い範囲の入力クロック周波数に対応した動作が可能です。

#### PLL2

入力デジタルオーディオ信号に追従したPLL回路と内蔵の高精度水晶発振器によるPLLを併用してマスタークロックを生成します。特性の違うPLL回路を2段で使うことにより、オーディオ信号の伝送ジッターを抑制します。

- 内蔵の高精度水晶発振器は特性を高めるために周波数可変範囲が狭い仕様となっています。入力デジタルオーディオ信号のクロック精度が内蔵の高精度水晶発振器の可変範囲を超える場合は、同期することができません。この場合は、PLL1モードを選択してください。

#### INT

内蔵の水晶発振器をマスタークロックとして動作します。

#### OUT

本機のCLOCK OUT端子よりワードクロックを出力し、クロックシンク動作を行いません。

出力可能周波数は、44.1/88.2/176.4/48/96/192/100kHz、22.5792/24.576MHzです。

#### IN

本機のCLOCK IN端子にクロックジェネレーターより、ワードクロックを入力し、クロックシンク動作を行いません。

入力可能周波数は、44.1/88.2/176.4/48/96/192/100kHz、10MHzです。

- USB HS\_2入力時は、ソースのサンプリング周波数により、入力可能周波数が変わります。

44.1kHz系のソースの場合は、

44.1/88.2/176.4/100kHz、10MHz

48kHz系ソースの場合は、

48/96/192/100kHz、10MHz

#### DMCK

本機のCLOCK IN端子にクロックジェネレーターより、本機のマスタークロックである44.1kHzの512倍の22.5792MHz、または48kHzの512倍の24.576MHzを直接入力し、クロックジェネレーターにダイレクトに同期して動作できます。

- エソテリック製SACDトランスポートのCD/SACD再生時は、22.5792MHzのみ入力可能です。

- USB HS\_2入力時は、ソースのサンプリング周波数が、44.1kHz系の場合は、22.5792MHz、48kHz系では、24.576MHzが入力可能で、ソースによってクロックを切り替える必要があります。

## クロック出力周波数設定

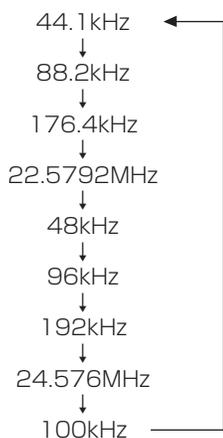
### 表示 (WOUT>\*\*\*)

CLOCK OUT端子から出力される周波数を選びます。  
エソテリックのP-05など、クロックシンク入力端子のある機器をD-07Xと同期させて再生するときに使用します。

- クロック設定がOUT、IN、DMCKに設定されていない場合は表示されません。
- 各入力ごとに設定可能です。

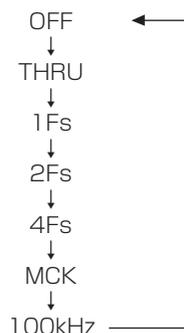
CLK設定により選択できる項目が変わります。

#### CLK設定がOUTの場合

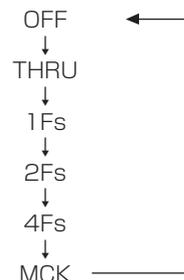


- 44.1/88.2/176.4kHz、22.5792MHzを選んだとき、入力可能オーディオ信号は44.1/88.2/176.4kHz、DSDです。
- 48kHz/96kHz/192kHz、24.576MHzを選んだとき、入力可能オーディオ信号は48/96/192kHzです。
- 100kHz (ユニバーサルクロック) を選んだとき、入力可能オーディオ信号は44.1/88.2/176.4/48/96/192kHzまたはDSDです。  
エソテリックのユニバーサルクロック対応機 (UX-1/UX-3など) と接続するときに使用してください。

#### CLK設定がINの場合



#### CLK設定がDMCKの場合



- ソース機器にはクロックジェネレータからクロックを入力し、同期している必要があります。

#### OFF

クロックを出力しません。

#### THRU

CLOCK IN端子に入力されているクロックの周波数を変えずに出力します。

#### 1Fs、2Fs、4Fs

入力されたクロックの基本周波数である44.1kHz/48kHzの1倍、2倍または4倍のクロック信号を出力します。

#### MCK

入力されたクロックの基本周波数である44.1kHz/48kHzの512倍マスタークロック(MCK)を出力します。

#### 100k

ユニバーサルクロック (100kHz) を出力します。

# 設定モード (続き)

## アナログ出力設定

### 表示 (OUT>\*\*\*)

- 入力設定に関わらず、ヘッドホン端子 (PHONES) にヘッドフォンを接続するとアナログ音声出力端子 (LINE OUT) から音声が出力されなくなります。

#### RCA

RCA出力端子からアナログオーディオ信号を出力します。

#### XLR2

XLR出力端子から2番HOTでアナログオーディオ信号を出力します。

#### XLR3

XLR出力端子から3番HOTでアナログオーディオ信号を出力します。

## XLR出力のゲイン設定

### 表示 (XLR>\*\*\*)

- アナログ出力設定がXLR2、XLR3に設定されていない場合は表示されません。
- 接続するアンプにより、+6dB設定でRCA端子の入力と同じ音量になるものと、0dB設定で同じ音量になるものがあります。

#### +6dB

XLR出力のレベルをRCA出力の2倍のレベル (+6dB) に設定します。

- 「+6dB」設定で音声がクリップしてしまう場合は、「0dB」設定にしてください。

#### 0dB

XLR出力のレベルをRCA出力と同じレベル (0dB) に設定します。

## USB入力設定

### 表示 (USB>\*\*\*)

- 入力ソースがUSBに設定されていない場合は表示されません。
- HIGH SPEEDモード (HS\_1、HS\_2) では、パソコン側への専用ドライバーソフトのインストールが必要です。ドライバーソフトはホームページよりダウンロードしてください。

#### NORM

USB FULL SPEEDモードで接続します。  
入力可能サンプリング周波数は、32kHz/44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHzです。

#### HS\_1

USB HIGH SPEEDモードで接続します。  
入力可能サンプリング周波数は、32kHz/44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHz/176.4kHz/192kHzです。

#### HS\_2

USB HIGH SPEEDアシンクロナスモードで接続します。  
入力可能サンプリング周波数は、32kHz/44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHz/176.4kHz/192kHzです。  
アシンクロナスモードは、パソコンから伝送されたオーディオデータを本機のクロック信号に従って再生するモードです。

- HS\_2設定で再生音が途切れたりノイズが出る場合はHS\_1に設定してください。

## リモコンの設定 表示 (RC>\*\*\*)

エソテリック製のアンプと同時にお使いになる場合にボリュームや入力切替のコントロールをリモコンで行わないようにできます。(10ページ)

### Enable

本機をエソテリック製品付属のリモコンで操作できるようにします。

### Disable

DIMMERコマンド以外のリモコンからのコマンドを受け付けないようにします。

エソテリック製のアンプと同時にお使いになる場合は、こちらに設定してください。

## FLディスプレイへの表示内容設定 表示 (DISP>\*\*\*)

### Fs

入力名と入力されているオーディオ信号のサンプリング周波数を表示します。

例1) XLR    DSD  
例2) RCA1   48

### VOL

入力名と設定されているボリューム値を表示します。

例1) XLR    0.0  
例2) OPT    -7.5

## 自動FL (ディスプレイ) 消灯設定 表示 (FLaOFF>\*\*\*)

FL (ディスプレイ) 表示を一定時間経過後、自動的に消灯する設定ができます。

出荷時は、「30m」に設定されています。

### 15m、30m、60m

それぞれ15分、30分、60分間操作の無い状態が続き、表示に変化がないと、FL表示が自動的に消灯します。

### OFF

FL表示は自動的に消灯しません。

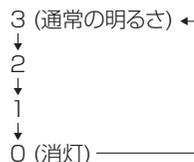
- 入力デジタル信号とロックしていないときは、消灯しません。
- FL表示管は、同じ表示状態で長時間使用し続けると、輝度ムラが起ることがありますので、自動FL消灯設定を有効にすることをお勧めします。

## ディマー設定

### 表示 (DIMMER>\*\*\*)

本体のディスプレイとインジケータの明るさを調節できます。

出荷時は「3」に設定されています。



- 「0 (消灯)」を選ぶと、ディスプレイとインジケータが消灯します。
- 消灯中に入力切替ボタン (INPUT) などを押すと、数秒間だけディスプレイが点灯します。
- 「3 (通常の明るさ)」以外が選択されていても、エラー表示や設定メニュー表示を行っている時は、通常の明るさになります。

# パソコンと接続して音楽ファイルを再生する

本機のUSB入力端子とパソコンをUSBケーブルで接続して、パソコンに記録されている音楽ファイルを本機のD/Aコンバーターを使って再生することができます。

USB接続できるパソコンのOSは

Windows XP 32bit  
Windows Vista 32 / 64bit  
Windows 7 32 / 64bit  
Mac OS X 10.6.4以降

のいずれかとなります。これ以外のOSでは動作は保証いたしません。

- パソコンのハードウェア、ソフトウェアの構成によっては、上記のOSを使用していても動作しない場合があります。
- HIGH SPEED1、HIGH SPEED2モードで接続する場合には、接続前に専用ドライバーソフトをインストールする必要があります。  
ドライバーインストール前にパソコンと本機を接続した場合、正しく動作させることができません。またOSにWindowsXPをお使いの場合には、パソコンの動作が著しく遅くなってしまい、パソコンの再起動が必要となる場合があります。

専用ドライバソフトダウンロードホームページアドレス

[http://www.esoteric.jp/products/esoteric/usb/usb\\_driver.html](http://www.esoteric.jp/products/esoteric/usb/usb_driver.html)

上記ホームページより、ファイルをダウンロード後、専用ドライバーソフトをインストールしてください。

本機は、パソコンとのUSB接続時に3つのモードが選択できます。設定方法は、11、16ページを参照してください。

## NORMALモード

設定で、USB>NORMを選択します。

パソコンとFULL SPEEDモードで接続します。

伝送可能サンプリング周波数は、32kHz/44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHzです。本機とパソコンを接続するための専用ドライバーソフトをインストールする必要はありません。パソコンのOSに標準で付属されているUSBオーディオドライバーで接続可能です。

- 初めて本機とパソコンを接続した際に、パソコン側で、本機のUSBポートを自動検出し、ドライバーが自動でインストールされます。OSの指示に従って、ドライバーのインストールを完了後に、音楽ファイル再生ソフトを起動してください。  
正しく接続されると、オーディオの出力先として「ESOTERIC USB AUDIO」が選択可能となります。

## HIGH SPEED1モード

設定で、USB>HS\_1を選択します。

パソコンとHIGH SPEEDモードで接続します。

伝送可能サンプリング周波数は、32kHz/44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHz/176.4kHz/192kHzです。本機とパソコンの接続のために事前に専用ドライバーソフトをインストールする必要があります。

専用ドライバーソフトは、インターネットホームページより、ダウンロードしてください。

正しく接続されると、オーディオの出力先として、「ESOTERIC USB HS AUDIO」が選択可能となります。

## HIGH SPEED2モード

設定で、USB>HS\_2を選択します。

パソコンとHIGH SPEEDアシンクロナスモードで接続します。

伝送可能サンプリング周波数は、32kHz/44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHz/176.4kHz/192kHzです。本機とパソコンの接続のために事前に専用ドライバーソフトをインストールする必要があります。

専用ドライバーソフトは、インターネットホームページより、ダウンロードしてください。

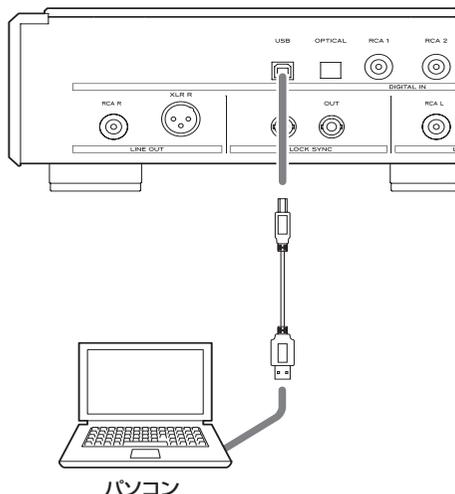
正しく接続されると、オーディオの出力先として、「ESOTERIC USB HS ASYNC AUDIO」が選択可能となります。

アシンクロナスモードでは、パソコンから送出されたオーディオデータを本機側のクロックを使って処理しますので、データ伝送時のジッターを抑制することができます。

- HIGH SPEED2モードでパソコンと本機を接続した場合に、再生音の途切れや一定間隔のノイズが発生するような場合は、HIGH SPEED1モードを設定してお使いください。
- HIGH SPEED1、HIGH SPEED2モードで接続する場合には、接続前に専用ドライバーソフトをインストールする必要があります。(18ページ)

## 1 USBケーブルでパソコンと本機を接続する。

ケーブルは本機の接続端子に合うものをご使用ください。



## 2 パソコンの電源を入れる。

OSが正常に起動できたことを確認してください。

## 3 電源ボタン (POWER) を押して本機の電源を入れる。

POWER



## 4 入力切換ボタン (INPUT) をくり返し押して「USB」を選ぶ。(10ページ)

INPUT



## 5 パソコンで音楽ファイルの再生を開始する。

パソコン側の音量調整は最大に設定して、本機に接続したアンプで音量を調整するとより良い音質が得られます。アンプの音量は再生開始時には最小にし、徐々に大きくして調整してください。

- パソコンから本機をコントロールしたり、本機からパソコンをコントロールすることはできません。
- 本機からUSB経由でパソコンに音楽ファイルを転送することはできません。
- USB接続で音楽ファイルを再生しているときに、以下の操作を行わないでください。パソコンの誤動作の原因となります。これらの操作は必ず音楽再生ソフトを終了してから行ってください。

USBケーブルを抜く  
本機の電源をオフにする  
入力を切り換える

- USB接続で音楽ファイルを再生しているときは、パソコンの操作時のサウンドも再生されます。操作時のサウンドを再生したくない場合は、パソコン側で設定を行ってください。
- 音楽再生ソフトを起動した後で本機とパソコンを接続したり、本機の入力を「USB」に設定した場合は、音楽ファイルが正しく再生できないことがあります。この場合は、音楽再生ソフトを再起動するか、パソコンを再起動してください。

# メッセージ一覧

**サンプリング周波数を表示するはずなのに---**が表示される。

入力された信号に問題があります。  
PCM/DSD以外の信号は入力しないでください。  
デジタル機器との接続を確認してください。

**XLR、RCA1、RCA2、OPT、USBが点滅する。**

デジタル信号にロックできません。INPUTボタンを押して、デジタル機器が接続されている端子を選んでください。  
接続した機器の電源をオンにしてください。接続した機器の設定を確認してください。

**PLL LCKING**

内部PLL回路 (PLL2) にロック中です。

**PLL UNLCK!**

入力されているデジタル信号に内部PLL回路がロックできません。入力されているデジタル機器との接続を確認してください。  
入力されている信号の周波数精度が本機のロック範囲を超えている場合は、内部PLL回路 (PLL2) がロックできませんので、クロック設定を「PLL1」にしてください。(14ページ)

**NO WORD!**

ワードクロックが入力されていません。外部マスタークロックジェネレーターとの接続、マスタークロックジェネレーターの電源や出力状態を確認してください。  
ワードクロックを使用しない時は、クロック (CLK) 設定でPLL1かPLL2を選んでください。(14ページ)

**WRD ERROR!**

入力されているソースの周波数がクロック周波数と同期していません。スーパーオーディオCDの再生時は、クロック周波数は44.1/88.2/176.4/100kHzまたは10MHzにしてください。またソース機器が正しくクロックシンクできているか確認してください。  
クロックシンク端子の接続や、接続している機器の設定を確認してください。  
クロックシンク機能のない機器と接続する場合は、クロック (CLK) 設定でPLL1かPLL2を選んでください。マスタークロックと同期する場合は、DMCKを選んでください。(14ページ)

**WRD LCKING**

入力されているワードクロックにロック中です。

**WRD UNLCK!**

入力されているワードクロックにロックできません。  
接続したクロックジェネレーターの周波数設定を確認してください。

**NO MCK!**

マスタークロックが入力されていません。

**MCK ERROR!**

入力オーディオ信号と22.5792MHzまたは24.576MHzの入力クロックがロックしていません。  
入力されているソースの周波数が入力マスタークロックとロックしていません。  
ソース機器がマスタークロック出力に対応しているか確認をしてください。(15ページ)

**MCK UNLCK!**

入力されているマスタークロックにロックできません。  
接続したクロックジェネレーターの周波数設定を確認してください。(14ページ)

## 困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も合わせてご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。

### 電源が入らない。

- 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 電源コードと本機の接続を確認してください。

### 音が出ない。

- アンプやデジタル機器との接続を確認してください。
- アナログ出力 (OUT) 設定を確認してください。(16ページ)
- ヘッドフォンを接続している。

### 入力インジケータが点滅する。

- 選択されている入力端子に接続されている機器の電源を入れてください。
- 選択されている入力端子が正しく接続されているか確認してください。

### 「ブツ、ブツ……」と周期的なノイズが出る。

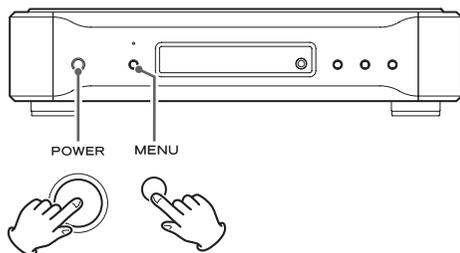
- D-07Xがクロックシンクモードなのに、接続している機器がクロックシンクモードになっていない可能性があります。クロックシンク端子の接続や、接続している機器の設定を確認してください。

### クロックインジケータの点滅が消えない。

- ワードクロックを使用しないときは、クロック (CLK) 設定でPLL1かPLL2を選んでください。(14ページ)
- 同期できない信号が入力されている可能性があります。クロックシンク端子の接続や、接続している機器の設定を確認してください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約1分後に始めから操作してください。

## 工場出荷時の状態に戻すには



設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

以下の操作をすると、設定した内容を工場出荷時の状態に戻し、すべてのメモリーを消去します。

### 1. 電源をオフにする。

電源がオンだった場合は、オフにしてから30秒以上待ってください。

### 2. メニューボタン (MENU) を押しながら電源ボタンを押す。

- 電源がオンになりディスプレイが点灯するまで、メニューボタン (MENU) から指を離さないでください。

## お手入れ

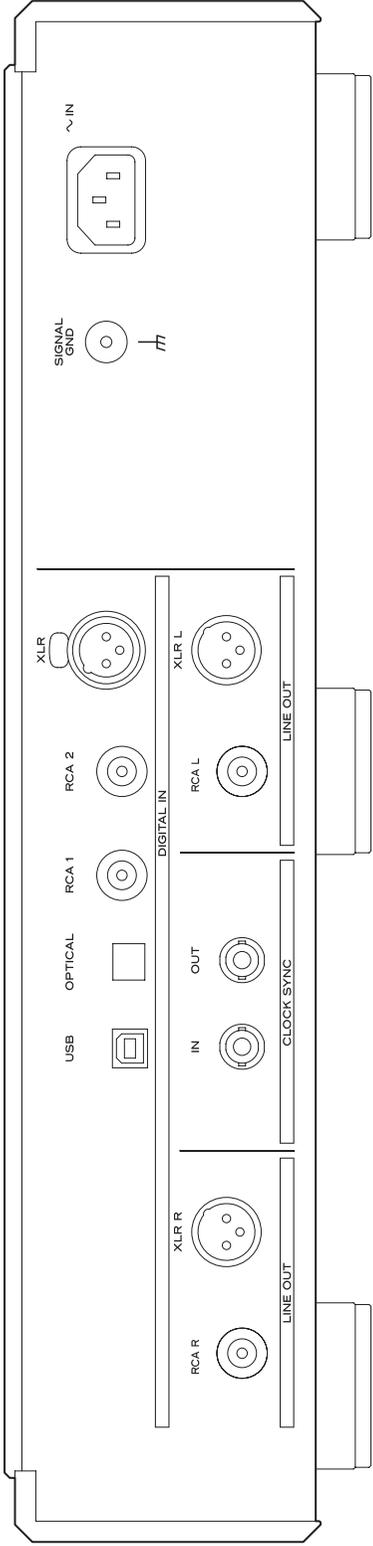
表面が汚れたときは乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。

ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

**⚠ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**



# リアパネル



# 保証とアフターサービス

## ■保証書

保証書はご愛用者カードと引き換えに発行いたします。

添付のご愛用者カードに必要な事項を御記入の上、ご購入後なるべく1ヶ月以内にご返送ください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から5年です。

- 保証書発行には約1ヶ月程度かかります。あらかじめご了承ください。
- ご記入頂いたご愛用者カードのご購入日が弊社出荷日と大きく異なる場合(6ヶ月以上ご愛用者カードの返送がない場合、ご愛用者カードでのユーザー登録をせず転売された場合等)は、保証書を発行できない場合があります。

### 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼にできない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
- 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
  - (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
  - (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
  - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
  - (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
  - (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
  - (6) 消耗品の自然消耗、磨耗、劣化や寿命部品等の交換が必要となった場合のメンテナンスやオーバーホール
  - (7) 保証書の提示がない場合
  - (8) 保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

## ■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

## ■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(26ページ)にお問い合わせください。

## ■修理を依頼されるときは

21ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(26ページ)にご連絡ください。

なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

## 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証書の規定に従って、修理させていただきます。

## 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

## 修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。

測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。

その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

## 修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：D/Aコンバーター D-07X

シリアルナンバー：

お買い上げ日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

## ■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

## 分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。

この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

## 音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気なるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



## エソテリック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

<http://www.esoteric.jp/>

### この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、  
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

#### AVお客様相談室



**0570-000-701**

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

電話:042-356-9235 / FAX:042-356-9242

### 故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。  
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

#### ティアック修理センター



**0570-000-501**

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話:04-2901-1033 / FAX:04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



# EGOTERIC